

第21回 日本小児栄養研究会 プログラム

会 期 2024年3月9日(土)

会 場 近畿大学農学部キャンパス
つながる館 あかねホール

会 長 竹森 久美子

後 援 奈良県栄養士会

<運営事務局>

近畿大学農学部食品栄養学科 栄養機能学研究室

〒631-8505 奈良中町 3327-204

TEL: 0742-43-8120

第 21 回日本小児栄養研究会のご挨拶

謹啓

ご挨拶に先立ち、年始の石川県能登地方を震源とした地震により、被害に遭われたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。みなさまの安全と、被災地の 1 日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

日本小児栄養研究会は、小児の栄養に関する知識・技術の向上と研究の発展を目指して 2003 年に設立され、これまで胎児期から思春期、母子栄養に至るまで小児栄養に関する基礎研究・臨床栄養が幅広く議論されてまいりました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が 2023 年の 5 月に 2 類から 5 類へと変更されました。このパンデミックの間、社会生活は甚大な影響を受けました。学会等の学術活動においても大きな影響を受け、やむを得ず活動の停滞等を余儀なくされたことも多かったと思います。この度は理事長の児玉浩子先生をはじめ運営委員の先生方のご推薦を受け、2024 年 3 月の第 21 回日本小児栄養研究会を近畿大学農学部が担当・開催させていただくことになりました。また、奈良県での開催は、近畿大学名誉教授 村上哲男先生が「なら 100 年会館」で開催された第 5 回研究会以来、16 年ぶりとなります。

前回の第 20 回日本小児栄養研究会は「未来につなぐ栄養学」というテーマでありましたことから、今回は「つなぐ」内容を具体的に共有することを目指し「こどもの成長・発達に寄り添う選食」をテーマとして掲げました。「人生で最も重要な時期」である胎児期から小児期における栄養に関心が深い栄養士、小児科医、産婦人科医、農学研究者、乳業会社等の企業の皆様方、多職種間で良好な関係を築き、現場での課題解決に繋がる研究を推進し、お互いの研究の幅の拡大や臨床栄養学の発展に繋がたいと願っております。本研究会が皆様の出会いと、相乗効果が起こる場となれば幸いです。

研究会開催の 2024 年 3 月には小児栄養分野管理栄養士・栄養士認定者が出ている予定で、非常にホットな話題となっております。そこで、今回の研究会での特別講演では、小児専門管理栄養士制度合同協議会代表、小児栄養研究会理事の位田 忍先生に「小児栄養分野」の普及と人材育成の制度化についてご講演いただけることになりました。教育講演では、京都大学大学院生命科学研究科の神戸 大朋先生には「乳児の亜鉛欠乏症：母乳中に亜鉛を供給する亜鉛輸送体 ZNT2 に関する研究からの考察」として母乳中亚鉛の重要性に関する解析結果を中心に、亜鉛の生理機能についてのご講演を、広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学の田原 優先生には「時間栄養学

から考える小児の Well-being」という演題で時間栄養学の現状ならびに母体・こどもの生活習慣と心身の健康に関する最近の知見のご紹介、第 20 回研究会会長である徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野 堤 理恵先生に「ICU の子どもたちを支える栄養治療」として臨床における栄養療法の実際、QOL の支援のための栄養サポートについて、ご紹介いただけることになりました。

本格的なポストコロナ時代の初回にあたるメモリアルな研究会を、近畿大学奈良キャンパスにて開催できることを光栄に思います。皆様方におかれましてはふるってご参加頂ければ幸いです。対面形式にて充実したディスカッション・情報交換が行われ、実り豊かな時間になることを期待しております。

謹白

2024 年 2 月吉日

第 21 回日本小児栄養研究会
会長 竹森 久美子 (近畿大学 教授)

第 21 回日本小児栄養研究会プログラム

日時 2024 年 3 月 9 日 (土) 9:25 より

会場 近畿大学 奈良キャンパス つながる館 あかねホール

〒631-8505 奈良市中町 3327-204

近鉄奈良線「快速急行／急行」生駒駅または学園前駅にて「普通」又は「準急」乗換え、「富雄」駅よりバスまたはタクシーにて約 10 分

大会参加費 会員・非会員：3,000 円

学 生 : 1,000 円 (抄録集不要の場合は無料)

抄録集のみ : 500 円

プログラム

8:50～15:00 受付

9:25～ 9:30 開会の挨拶

9:30～10:10 一般演題① (基礎・栄養介入 一般演題 1～4)

10:10～10:50 教育講演①

10:50～11:00 休憩

11:00～12:00 特別講演

12:00～12:10 休憩

12:10～13:10 ランチョンセミナー

13:10～13:20 休憩

13:20～14:00 一般演題② (栄養介入・調査研究 一般演題 5～8)

14:00～14:40 教育講演②

14:40～15:10 コーヒーブレイク、運営委員会

15:10～15:40 スポンサーセミナー

15:40～16:20 一般演題③ (調査研究・症例報告 一般演題 9～12)

16:20～17:00 教育講演③

17:00～17:05 優秀演題表彰式

17:05～17:10 閉会の挨拶

特別講演 (11時00分～12時00分)

「小児栄養分野」の普及と人材育成の制度化

小児栄養分野推進(旧小児専門管理栄養士制度)合同協議会 代表
地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター臨床検査科
位田 忍

教育講演① (10時10分～10時50分)

乳児の亜鉛欠乏症：母乳中に亜鉛を供給する亜鉛輸送体 ZNT2 に関する研究
からの考察

京都大学大学院生命科学研究科
神戸 大朋

教育講演② (14時00分～14時40分)

時間栄養学から考える小児の Well-being

広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学
田原 優

教育講演③ (16時20分～17時00分)

ICU の子どもたちを支える栄養治療

徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野
堤 理恵

ランチョンセミナー (12時10分～13時10分)

共催：協和発酵バイオ株式会社、
キリンホールディングス株式会社

「ヒトミルクオリゴ糖 (HMOs)」の食品機能素材に向けての取組み

協和発酵バイオ株式会社 営業マーケティング部¹⁾、経営企画部²⁾
落合 将之¹⁾、中崎 瑛里²⁾

コーヒブレイク (14時40分～15時10分)

「令和6年能登半島地震の被災地支援 1.5次避難所での活動」

社会福祉法人 協同福祉会 あすなら苑

青木 香奈

スポンサーセミナー (15時10分～15時40分)

共催：ロート製薬株式会社

子どもの目を守る－小児の近視について－

慶應義塾大学医学部眼科学教室

麴町大通り眼科

森 紀和子

問い合わせ先

〒631-8505 奈良市中町 3327-204

近畿大学農学部食品栄養学科 栄養機能学研究室 竹森久美子

E-mail: kuriman@nara.kindai.ac.jp

TEL : 0742-43-8120

HP: <https://www.jschnr.org/index.html>

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目 35 番 4 号不二光学ビル 3 階

日本小児栄養研究会 事務局

株式会社コンパス内

E-mail:info@jschnr.org

TEL : 03-5840-6131

FAX : 03-5840-6130

HP : <https://www.jschnr.org/>



会場までのアクセス

電車でお越しの場合

・新大阪駅から

1. JR 京都線（大阪方面）で大阪駅まで約 6 分
JR 環状線外回り（京橋、鶴橋方面）に乗り換え、鶴橋駅まで約 15 分
近鉄奈良線（奈良方面）準急に乗車、富雄駅まで約 25 分
2. 地下鉄御堂筋線（難波方面）で難波駅まで約 15 分
近鉄奈良線・準急に乗車、富雄駅まで約 30 分

・京都駅から

1. 近鉄京都線・急行に乗車、西大寺駅まで約 40 分
（特急では約 30 分）
2. 近鉄奈良線・準急（難波方面）に乗り換え、富雄駅まで約 7 分



・富雄駅から

1. 西出口を出て、富雄川沿いを南に歩き、「新富雄橋」をわたる
「近畿大学バス乗場」で奈良交通バス乗車、キャンパスまで約10分
(※乗り換え時間は含みません)

バスを降りられましたら、正面につながる館がございますので、つながる館を見て右側の道をお進みください。入口に、看板を設置しております。

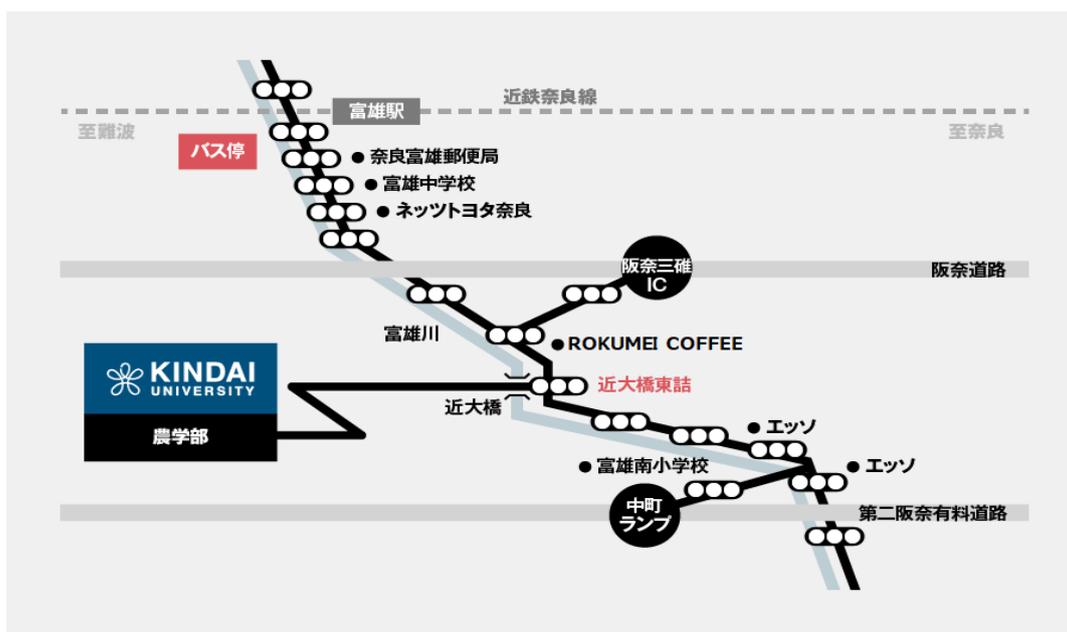
富雄駅からのバスダイヤは以下のリンクより [休暇中 土曜日用ダイヤ] をご確認ください

<https://www.kindai.ac.jp/agriculture/bus-diagram/>

時間	富 雄 発	近畿大学発
8時	10・*30・40・*58	23・*43・53
9時	**10・18・*38・58	*13・33・*53
10時	*18・58	13・*43
11時	58	13
12時	58	13
13時	58	18・**40
14時	58	13
15時	28・58	13・43
16時	28・58	13・43
17時	35	18・**35・50
18時	10・50	25
19時	28	05・45

*は春休暇中の増便、**は第21回日本小児栄養研究会での増便

車でお越しの場合

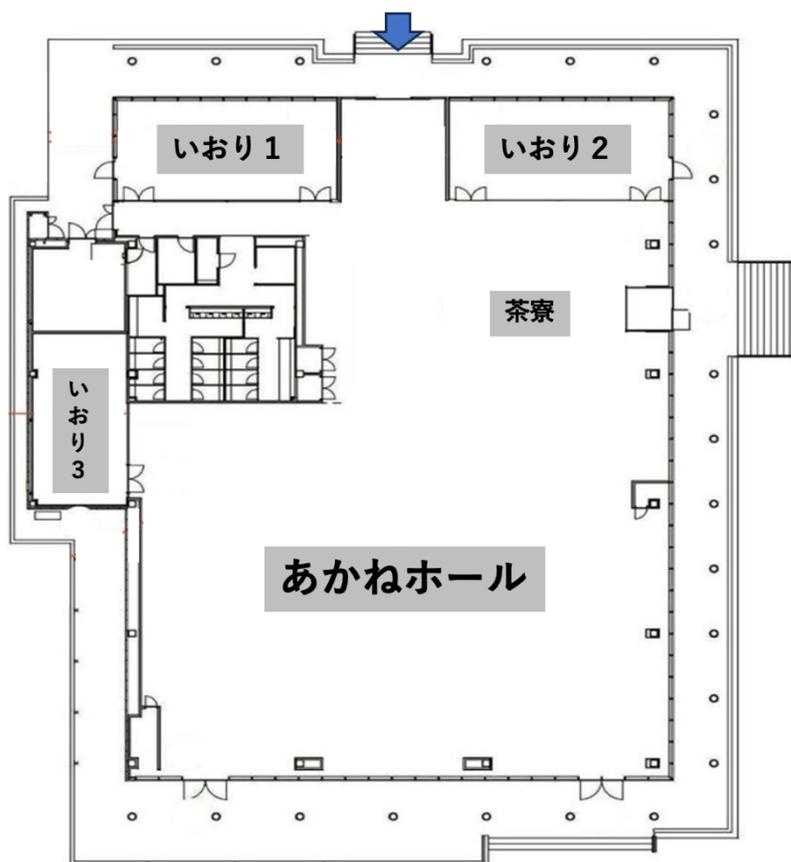


1. 阪奈道路経由の場合：阪奈三碓 I.C.を出て富雄川沿いに南下もしくは川沿いに南へ進み、近大橋東詰を右折、北駐車場をご利用ください。
2. 第二阪奈有料道路経由の場合：中町ランプを出て富雄川沿いに北上もしくは川沿いに北へ進み、近大橋東詰を左折、北駐車場をご利用ください。
3. 北駐車場入り口から、建物内に入っただき、突き当たりのエレベーターあるいは階段にて1階にお上がりください。通路をお進みいただき学内のコンビニ（ファミリーマート）を通りすぎて50mほどお進みいただき、左折してお進みください。つながる館は、右側に見えてきます。

会場案内



つながる館 入口



参加される皆様へ

1. 運営委員会のご案内

2024年3月9日（土）14:40～15:10 つながる館内いおり2

理事、運営委員の先生方をご参集ください。

2. 参加登録受付

受付にて芳名帳のご記帳をお願いいたします。また参加費をお支払いの上、抄録集と名札をお受け取りください。名札には所属、氏名を記入し、会場に入場する際には必ずご着用ください。参加証を着用しておられない方の入場はお断りします。

*石川・富山・福井・新潟在住で第21回日本小児栄養研究会にご参加いただける皆様の参加費を免除させていただきます（当日受付にて、ご所属・ご芳名・参加者の皆様が在住されている都道府県を確認させていただきます）。

	正会員	学生・院生	非会員
大会参加費（抄録集付き）	3,000円	1,000円 (抄録集不要の場合は無料)	3,000円
抄録集のみ	500円		

参加証は、各認定等の申請・更新の際、参加したことの証明となりますので大切に保管してください。参加証・領収証の再発行は致しかねます。

3. 座長の先生方へ

- ・座長の先生方は、来場されましたら受付に設営してありますプログラム表に、来場の印をご記入願います。
- ・講演開始10分前までには、「次座長席」にご着席ください。
- ・セッション開始時にアナウンスが入りますので、アナウンスに従って進行をお願いいたします。また予定よりも早く終了した場合でも、次のセッションを前倒しせずに、予定の時間通りに進行をお願いいたします。
- ・進行に関しましては時間厳守で願います。

4. 一般演題の演者の方へ

- ・演者の方は、来場されましたら受付に設営してありますプログラム表に、来場の印をご記入願います。
- ・演題発表開始 10 分前までには、「次演者席」にご着席ください。
- ・演題発表時間は 10 分（発表 7 分、討論 2 分、交代 1 分）です。時間厳守でお願いいたします。第 1 鈴=6 分、第 2 鈴=7 分（発表終了）、第 3 鈴=9 分（すべて終了）

5. 一般演題の発表方法について

[発表用ファイル準備]

- ・演題発表時間は、10 分（発表 7 分、討論 2 分、交代 1 分）です。時間厳守でお願いいたします。
- ・演題発表はご自身の PC を用いた口頭発表形式で行います。ご発表にはパワーポイントを利用します。ただし、トラブルに備え、PDF ファイルをバックアップとしてご準備下さい。
- ・タイトルスライドの次に、発表に関する企業・団体などの COI 状態（発表時から遡って過去 2 年間）を開示してください。
- ・COI 開示に関するスライドは以下を使用してください。
参考 URL (https://www.jsnfs.or.jp/coi/coi_policy.html)
- ・HDMI を利用可能です。それ以外の接続端子をご利用の先生は変換ケーブルの準備をお願いいたします。接続不良等の不具合などに備え、念のために複数の USB メモリにご自身の発表データ（パワーポイントファイルと PDF ファイルの両方）を保存したものを持参ください。

6. 特別講演・教育講演の先生方へ

- ・特別講演・教育講演の講演時間は、あらかじめ事務局から依頼した時間を目安にお願いいたします。

7. 展示

- ・ホール内にて、展示を行っています。また協賛企業よりご提供いただいた食品・飲料等を配布しています。会場内では蓋のついた飲料のみご利用いただけます。

8. 昼食等

- ・12 時 10 分からのランチオンセミナーに是非ご参加ください。
- ・お弁当・パン・飲料等はキャンパス内コンビニエンスストア「ファミリーマート」でもご購入いただけます。（営業時間 8:30 ～ 15:00）

9. 単位取得について

- ・本研究会への参加により取得できる単位（予定）は以下のとおりです。詳細は研究会ホームページをご覧ください
- ＊日本栄養士会 [小児栄養分野管理栄養士・栄養士制度更新単位振替]
- ＊日本小児科学会 [小児科専門医更新単位]
- ＊日本臨床栄養学会 [臨床栄養医（指導医）認定 2 単位]
- ＊日本臨床栄養協会 [NR・サプリメントアドバイザー資格更新 5 単位]
- ＊日本食品安全協会 [健康食品管理士資格更新 2 単位]
- ＊日本健康・栄養システム学会 [臨床栄養師継続研修 10 単位]
- ＊奈良県栄養士会 [生涯教育単位(R90-110 全分野共通 2 単位)]

10. クローク

- ・クロークはございませんので、会場内でのお荷物の管理は各自でお願いいたします。

11. その他

- ・学内 Wi-Fi については、当日受付で説明いたします。
- ・発表会場内での携帯電話のご使用や呼び出し音のご利用は、ご遠慮ください。
- ・講演中のビデオ・撮影機器による講演内容の記録はお断りいたします。
- ・発表者が当日欠席される場合は、必ず事前に実行委員会事務局のメールアドレスまでご連絡ください。その際には、代替者の有無、代替者名およびご所属を必ず記載してください。（連絡先：kuriman@nara.kindai.ac.jp）
- ・37.5℃以上発熱された方の参加はご遠慮ください。なお、つながる館入口に体温測定機を設置しております。ご入構の際にご活用ください。また、発表会場入口に手指消毒用のアルコールも設置しています。適宜、ご使用ください。
ご協力の程、よろしく申し上げます。
- ・車でお越しになる場合は、北駐車場をご利用ください。

プログラム

9:25～9:30 開会の挨拶

近畿大学農学部食品栄養学科 竹森 久美子

9:30～10:10 一般演題①（基礎・栄養介入 一般演題 1～4）

座長：竹森 久美子（近畿大学）

1. エイコサペンタエン酸（EPA）による栄養介入が心房細動の発症予防に及ぼす影響

近畿大学大学院農学研究科応用生命化学専攻¹⁾

近畿大学農学部食品栄養学科²⁾

堀井 鴻佑¹⁾、増田 誠司¹⁾、森島 真幸^{1,2)}

2. 健康な雌マウスへの妊娠前からの α -glucosylhesperidin の摂取が仔の情動的ストレスや免疫調節に及ぼす影響

近畿大学農学部食品栄養学科公衆栄養学研究室¹⁾

近畿大学大学院農学研究科応用生命化学専攻食品機能学²⁾

鈴木 巴乃¹⁾、ZHU MOHAN¹⁾、松永 華奈¹⁾

堀井 鴻佑²⁾、森島 真幸^{1,2)}

3. 保育所に通う幼児の鉄・ビタミン D 不足の実態とフォローアップミルクの効果について

人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科¹⁾

東大阪大学短期大学部 実践食物学科²⁾

帝京平成大学 栄養・発育研究講座³⁾

貝原 奈緒子¹⁾、松田 依果²⁾、児玉 浩子³⁾

4. 10歳以下の小児における血清亜鉛値の解析

筑波大学医学医療系小児外科

佐々木 理人、増本 幸二、酒井 比奈子、白根 和樹、

西潟 綾、青山 統寛、藤井 俊輔、後藤 悠大、

渋井 勇一、神保 教広、瓜田 泰久

10:10～10:50 教育講演①

座長：米谷 俊（株式会社ファーマフーズ）

乳児の亜鉛欠乏症：母乳中に亜鉛を供給する亜鉛輸送体 ZNT2 に関する研究
からの考察

京都大学大学院生命科学研究科

神戸 大朋

10:50～11:00 休憩

11:00～12:00 特別講演

座長：児玉 浩子（帝京平成大学）

「小児栄養分野」の普及と人材育成の制度化

小児栄養分野推進（旧小児専門管理栄養士制度）一合同協議会 代表

大阪母子医療センター 臨床検査科

位田 忍

12:00～12:10 休憩

12:10～13:10 ランチョンセミナー

「ヒトミルクオリゴ糖（HMOs）」の食品機能素材に向けての取組み

協和発酵バイオ株式会社 営業マーケティング部¹⁾、経営企画部²⁾

落合 将之¹⁾、中崎 瑛里²⁾

13:10～13:20 休憩

13:20～14:00 一般演題②（栄養介入・調査研究 一般演題 5～8）

座長：西本裕紀子（大阪府立病院機構 大阪母子医療センター）

5. ヒトミルクオリゴ糖（Human Milk Oligosaccharides: HMOs）の研究動向

協和発酵バイオ株式会社 経営企画部

石田 高志

6. 管理栄養士養成課程女子学生の食態度調査と葉酸の継続的摂取向上への行動変容アプローチ

近畿大学農学部食品栄養学科¹⁾

近畿大学医学部解剖学教室²⁾

柿井 美音¹⁾、松尾 拓哉²⁾、増田 誠司¹⁾

竹森 久美子¹⁾

7. 食生活に着目した小児・思春期若年成人(AYA)がん経験者へのアンケート調査

大阪大学大学院医学系研究科小児科学¹⁾

大阪大学医学部附属病院栄養マネジメント部²⁾

大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科³⁾

福田 明子¹⁾、橘真 紀子¹⁾、松村 知美¹⁾

杉浦 愛子¹⁾、大沼 真輔¹⁾、牧 美穂¹⁾

福岡 智哉¹⁾、木村 武司¹⁾、長井 直子²⁾

皆川 光¹⁾、宮村 能子¹⁾、窪田 拓生¹⁾

三善 陽子^{1,3)}

8. 日本人幼児における料理分類方法および料理別摂取状況の検討：国民健康・栄養調査の二次利用解析

東京農業大学応用生物科学部栄養科学科¹⁾

女子栄養大学栄養学部²⁾

武庫川女子大学食物栄養科学部食物栄養学科³⁾

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所⁴⁾

多田 由紀¹⁾、衛藤 久美²⁾、小林 知未³⁾、

松本 麻衣⁴⁾、瀧本 秀美⁴⁾

14:00～14:40 教育講演②

座長：青山 晋也（サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社）

「時間栄養学から考える小児の Well-being」

広島大学大学院 医系科学研究科 公衆衛生学

田原 優

14:40～15:10 コーヒーブレイク、運営委員会

「令和6年能登半島地震の被災地支援 1.5次避難所での活動」

社会福祉法人 協同福祉会 あすなら苑

青木 香奈

15:10～15:40 スポンサーセミナー

座長：竹森 久美子（近畿大学）

子どもの目を守るー小児の近眼についてー

慶應義塾大学医学部眼科学教室

麴町大通り眼科

森 紀和子

15:40～16:20 一般演題③（調査研究・症例報告 一般演題 9～12）

座長：瀧谷 公隆（大阪医科薬科大学）

9. 生活困窮世帯の子どもを対象とした自立支援の為の食育プログラム

特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International¹⁾

帝京平成大学 栄養・発育研究講座²⁾

大野 尚子^{1,2)}、土井 暁子¹⁾、児玉 浩子²⁾

10. 女性アスリートの三主徴（FAT）を呈する高校生女子アスリートにおける
栄養サポートの1例

帝京平成大学 栄養・発育研究講座

大野 尚子、児玉 浩子

11. ピルビン酸脱水素酵素複合体欠損児にケトンミキサー食を導入した一例

国立病院機構医王病院栄養管理室¹⁾

国立病院機構医王病院小児科²⁾

酒井 友梨子¹⁾ 川井 凱¹⁾ 島田 真理¹⁾

加藤 明子²⁾

12. 上腸間膜動脈症候群を発症した自閉スペクトラム症児への食事介入

筑波大学 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

スポーツ医学学位プログラム¹⁾

筑波大学附属病院 病態栄養部²⁾

筑波大学 医学医療系 小児外科³⁾

筑波大学 医学医療系 スポーツ医学/臨床検査医学⁴⁾

海老名 慧^{1,2)}、浮田（柴崎）千絵里²⁾、酒井 比奈³⁾、

佐々木 理人³⁾、北久保 佳織²⁾、竹越 一博⁴⁾、

増本 幸二^{2,3)}

16:20～17:00 教育講演③

座長：森島 真幸（近畿大学）

ICU の子どもたちを支える栄養治療

徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野

堤 理恵

17:00～17:05 優秀演題表彰式

17:05～17:10 閉会の挨拶

近畿大学農学部食品栄養学科 竹森 久美子